

全学共通科目 総合系科目 [秋学期他/2単位]

2024年度 陸前高田プロジェクト 募集要項

スタンフォード大等アメリカの大学・香港大・シンガポール国立大 等との協働プログラム

東日本大震災被災地の復興の歩みと現在について学び、地域の方と海外大学生と共に考える

株式会社オービックビジネスコンサルタント様・株式会社大塚商会様による支援プログラム

陸前高田プロジェクト募集情報サイト(RIKKYO SPIRIT)

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/ghrd/rikutaka/SitePages/index.aspx>

(要 V-campus ID, 申込はこちらから)

1. プログラムの概要

岩手県陸前高田市は、4～5階の建物の高さまで達したとされる津波の影響で、当時人口24,246名に対し行方不明者を含み1,700名を超える方が犠牲になりました。13年が経過しましたが、この間市では、防災・減災、そして「ノーマライゼーション」という言葉のいらないまちづくりの実現に向けて復興事業が続けられてきました。震災から10年を経て約10メートルのかさ上げ工事や住宅再建用の宅地造成等が整えられ、2021年にはかさ上げされた土地に市役所の新庁舎が完成、新たなまちの姿も現れてきました。一方で新しいまちづくりや活性化には今後の課題も多くあります。また、震災の記憶は簡単に薄まるものではありませんが、年月を経て、陸前高田市に関係する方々がどのように震災に向き合っているかを知ることも大切なことです。

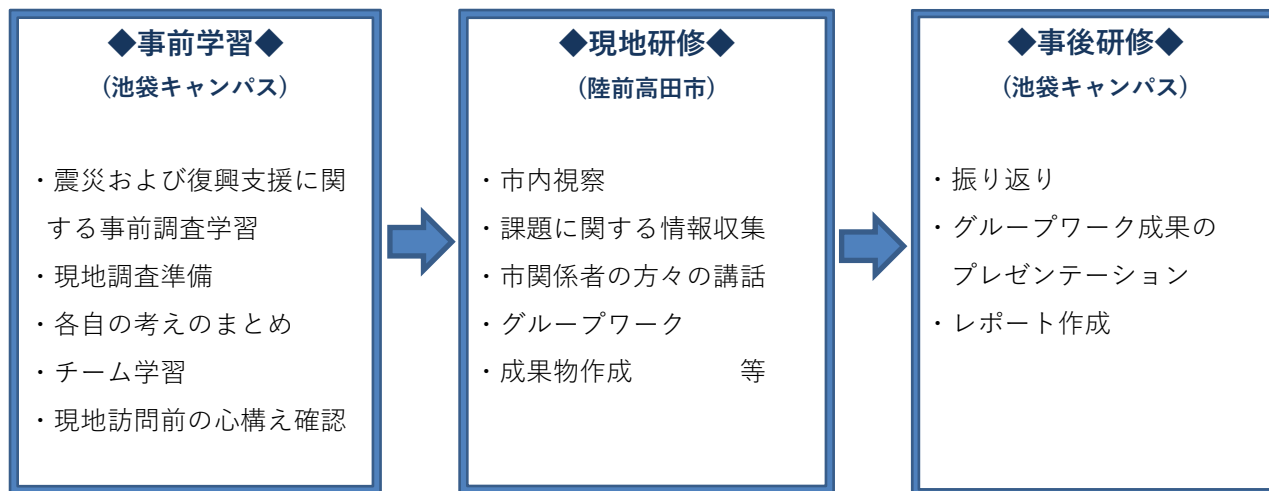
立教大学は長年交流のある陸前高田市での課題基盤型学習プログラムを2013年度から継続して実施し、本プログラムを通し被災地の現状を多くの学生が知り、復興における課題を共有していきたいと考えてきました。また、本プログラムでは海外の大学生と協働することによって、より広く多様な視点から課題について考える機会とします。

【プログラムの目的】

- ・ 陸前高田市の被災時の状況やこれまでの取り組み・現状を知る
- ・ 市や市民の方々の抱える課題を共有する
- ・ 海外の大学生も交えたディスカッションや協働作業を通し、多様な視点で課題について深く思考し共有する



【基本授業構成】



II. 2024 年度実施要領

◆科目開講区分／単位

- ・全学共通科目 総合系科目 多彩な学び「陸前高田プロジェクト」
- ・秋学期他科目 2 単位

◆参加大学（予定）

立教大学、スタンフォード大学等アメリカの大学、香港大学、シンガポール国立大学 等

◆担当者

高井 明子先生（グローバル教育センター特任准教授, Save the Children Japan 専務理事・事務局長）
Yuki Ueda 先生（VIA [Volunteers in Asia]（スタンフォード大学ゆかりのボランティア団体）Program Director）

◆使用言語

英語

◆プログラムテーマ

「陸前高田市の歩みから持続可能な都市について学び、地方都市が持続可能な都市となるために自分たちにできることを考えよう」

ー SDGs「11 住み続けられるまちづくりを」の視点からー

◆スケジュール

- ▷事前研修: 7月13日(土) 14:30-17:30 @池袋キャンパス (立教生のみ)
- ▷事前研修: 8月24日(土) @池袋キャンパス (海外大生合流)
- ▷現地研修: 8月25日(日)～8月29日(木) @陸前高田市 (現地研修)
- ▷事後研修: 8月30日(金) @池袋キャンパス

- ・8月の日程は各日、終日予定を空けておいてください。
- ・必ず全日程に参加できることが申込み条件です。

◆参加費

プログラム費（参加者からの徴収予定額）：2万円程度

※確定金額や支払い方法は参加者確定後に案内する

〈プログラム費の考え方〉

・現地研修にかかる往復交通費・宿泊費・食費は参加者負担。プログラム費として大学が事前に徴収。ただし、食費に関し、グループ行動など分かれて食事を摂る場合はプログラム費と別に個別支払う。

・必要経費（見込み）：5～6万円程度

※本プログラムは「立教大学陸前高田サテライト利用に係る交通費・宿泊費援助金」対象プログラムであり、必要経費から援助金支給分を相殺した金額をプログラム費として算出し、各参加者から徴収する。

「[立教大学陸前高田サテライト利用に係る交通費・宿泊費援助金](#)」

- 前年度支給実績：35,000円（同援助金初回利用者の場合）

- 支給金額は都度審査のため変動可能性あり

※万一自己都合で不参加となった場合、タイミングによりキャンセル料が発生する。

〈本プログラムの運営費について〉

・本プログラムは、株式会社オービックビジネスコンサルタント様および株式会社大塚商会様よりいただいた指定寄附により、上記以外に必要なプログラム運営費を負担し実施しています。

◆感染症の拡大防止

・本プログラム参加者は、各自感染症拡大防止に配慮した行動をとる必要があります。

III. 2024年度募集要領

◆募集対象

学部1～4年生、全学部対象

◆参加条件

・2024年度春学期および秋学期ともに在学していること（休学する者は不可）

・全日程に参加可能な者

・英語によるコミュニケーション能力を有し、かつプログラム中は英語でコミュニケーションを行う意志のある者

（資格スコア条件は設けないが、プログラムは全て英語で行われるため英語でディスカッション等が行えるレベルが必要）

◆募集人数

立教生10名程度（海外大生計10名程度、総計20名程度を予定）

IV. 2024 年度 申込手順

◆申込方法

下記 URL の申請フォームから設問に回答し申込みこと。

<https://forms.gle/CF5Y4u3uTgdTt6Zz5> (要 V-CampusID/PW)

※フォームでは以下の内容の入力も必要となるので、事前に考えをまとめてから入力を行うこと。

- 「陸前高田市や東日本大震災についてあなたが考えていること (300~400 字程度 or 英語 200 words 程度)」
- 「ボランティア経験 (団体名、日時、場所など)、学んだこと (300~400 字程度 or 英語 200 words 程度)」
- 「志望理由・プログラム参加にあたっての目標(英語 300 words 程度)」

◆申込に必要な提出物

以下に示す提出物を事前に準備の上、申請フォームの指示に従ってアップロードすること。

提出物はフォームへの回答内容とともに本プログラム運営関係者で共有されます。

1. 以下の内容/条件で撮影した動画

- ・自己紹介、プログラム参加を希望する理由、本プログラム参加のための自己 PR を述べる
- ・英語で話すこと
- ・2分程度
- ・申込者自身の顔が映るように撮影すること
- ・冒頭に「所属学部、学科、学年、氏名」を述べてから開始すること

※動画は連続で撮影し、複数動画のつなぎ合わせなどの編集を行わないこと

※フォーマットは MP4 推奨 (MOV、AVI 可)、サイズ 500MB まで

2. 成績参照画面の PDF データ

- ・4月22日 10:00 以降に出力し当年度春学期の履修登録科目が反映されたもの。
- ・最終ページまで
(成績参照画面の印刷用ページから PDF 化できます)

3. 英語能力証明書の写し

- ・大学で受験した TOEIC IP 可。PDF または写真等の画像データを提出。

◆申込期間

2024 年 5 月 説明会後 ~ 6 月 12 日 (水) 17:00 ※ 締切厳守

◆選考方法

選考① 書類選考 (申込フォーム入力内容および提出物の内容による選考)

選考② 面接選考 (①の選考合格者に対し、オンライン面接選考を行い合格者を確定)

※6/19 までに、選考①の結果通知ならびに合格者に対しては面接日時を連絡します。連絡は立教のメールアドレス宛に行います。

◆オンライン面接日時

6月20日(木)~22日(土)、時間帯は申請フォームに掲載。

◆選考結果発表

6月24日までに通知予定 (立教のメールアドレスへ面接選考の可否結果を通知します)

V. 履修登録・成績

- ・科目名「陸前高田プロジェクト」
 - 全学共通科目 総合系科目 多彩な学び
 - 秋学期他科目（2単位） ※選考合格者のみ大学が9月に履修登録を行う
- ・履修、試験、成績評価方法・基準等については、[R-Guide](#)(総合系科目に関する記載および「[陸前高田プロジェクトの履修について](#)」)および[シラバス](#)を確認のこと。
- ・選考合格確定後、履修登録の取り消しは行わない。
- ・学校感染症に罹患した等の理由で研修に参加できなかった場合、シラバスに記載の成績・評価方法基準に従い採点を行い、不合格となる可能性がある。現地研修の全日程不参加の場合は評価の対象とせず不合格となる。

〈問合せ先〉

立教大学グローバル教育センター（池袋キャンパスマキムホール2階）

email: cghrd-rtpj@rikkyo.ac.jp

以上

